

総合的な学習 3年2組 久恒学級 授業日:2026年1月14日

「765安全守り隊」

中学年分科会の目指す児童像

仲六郷地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて表現する子

研究主題や目指す児童像にせまるための手立て

- ① 実社会を支える人や施設との連携
 - * 蒲田警察署、大田区役所、セブンイレブン（こども SOS の家）
- ② 主体的・協働的な学びの工夫
 - * 課題意識をもたせる
- ③ ICT等の活用
 - * 情報共有アプリ“オクリンクプラス”、スライド、ドキュメント等
- ④ ワークシートの工夫
 - * 振り返り、新聞記事や写真、区キャラクターの活用等

- 連携先（授業パートナー）**
- ・ 蒲田警察署
 - ・ 大田区役所
 - ・ セブンイレブン（こども SOS の家）

【 児童の変容・授業の様子 】

| 質問 | ①自分たちの住んでいる地いきはすきですか。 | ②ふしん者に声をかけられるなど、こわい思いをした時はどうしたらいいか知っていますか。 | ③危険な場所はどこか知っていますか。 |
|-----|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 学習前 | <p>とてもすき: 74.4% すこしすき: 23.3%</p> | <p>はい: 74.4% いいえ: 25.6%</p> | <p>知っている: 62.8% 知らない: 37.2%</p> |
| 学習後 | <p>とてもすき: 70.2% すこしすき: 23.4%</p> | <p>はい: 78.7% いいえ: 21.3%</p> | <p>知っている: 78.7% 知らない: 21.3%</p> |

以上のアンケート結果から、「765安全守り隊」の学習後には、不審者に声をかけられた時の対応の仕方や、犯罪に巻き込まれないために気をつけることなどについての理解が深まったといえる。学んだことをこれからの生活にどのように生かすかという質問には、「学習した安全な場所と危険な場所をしっかりと覚えておく、行動に移す、周りの人に伝えていく。」というような回答が多かった。自分達の住む地域を調べたことで、より自分ごととして捉え、防犯についての意識が高まったといえる。

防犯教室



青パトは地域(区役所)の人たちがやっていたんだね!



「こども SOS の家」かけこみ訓練



不審者に声をかけられたら、近くのこども SOS の家に助けを求めよう!

フィールドワークでみつけた危険な場所を発表しました。

研究授業「地域安全マップを作ろう」

地域安全マップ作りのためのフィールドワーク



危険な場所がどんな場所かわかった!



一年生に向けて発表しました!



このあたりで危険な場所はありませんか?

地域安全マップ作り&発表



成果と課題

成果

- ◎青パトや「こども SOS の家」での駆け込み訓練などの学習を通して、地域の安全を守る活動が続ける人々の存在を知ることができた。地域の人々の願いに気づき、地域の方々によって安全が守られていることを理解した。
- ◎自分達の住む地域の安全マップを作ることで、地域に対する関心が高まった。
- ◎社会科「安全な暮らし」と関連付けながら、安全・安心の生活には交通の面だけではなく災害や防犯の面があることを意識させ、学習を深めることができた。
- ◎1年生からの依頼を受けて学習課題に向かって取り組むことで、相手意識をもって意欲的に活動することができた。
- ◎危険な場所と安全な場所の見分け方が身に付き、犯罪から身を守る行動についての理解が深まった。「入りやすく、見えにくい」というキーワードだけでなく、自分自身の経験や気づきから危険や安全な場所はどんなところか考えることができた。

課題

- 危険な場所を調べ理解が深まったことで、怖い印象が強くなってしまった。
- 情報を収集・分類まではできるが、整理したり、効果的な表現方法を考えたりする活動では、助言が必要な場面が多かった。